



さるぼぼ
コイン
SARUBOBO COIN

さるぼぼコイン が目指す
地域のデジタルプラットフォーム
「さるぼぼコイン×CSV経営」

飛驒信用組合
Tel 0577-32-8988 (経営企画部)
Mail kikaku@hidashin.co.jp

さるぼぼコイン 《現状》

さるぼぼコインの現状① 足もと

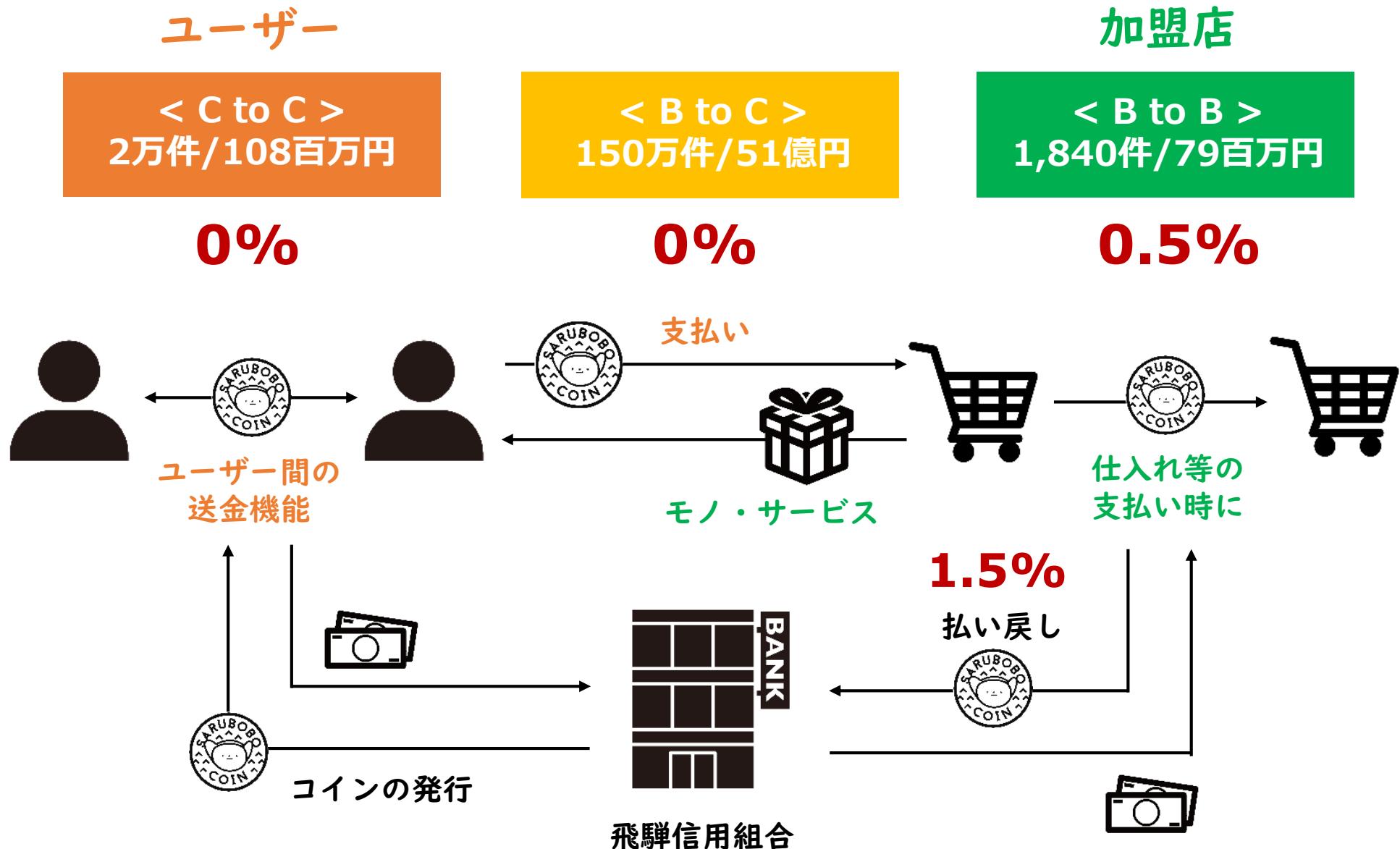
ユーザー数
約24,600名
(うち地域住民約18,000名)

加盟店数
約1,700店
(高山市・飛騨市・白川村)

累計決済額 約51億円



さるぼぼコインの現状② 流通量



さるぼぼコインの現状③ 現在地

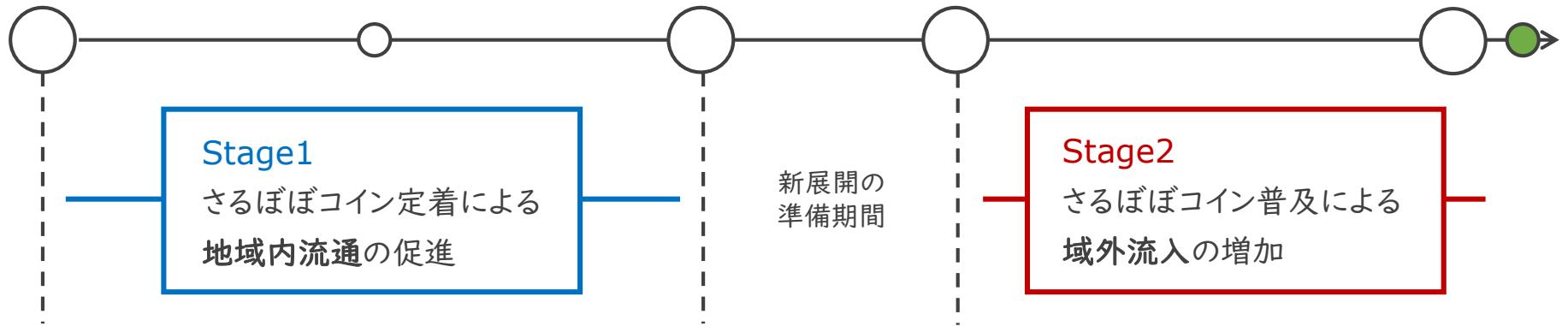
4周年！

2017.12 リリース

2019.12

2020.03

2021.12



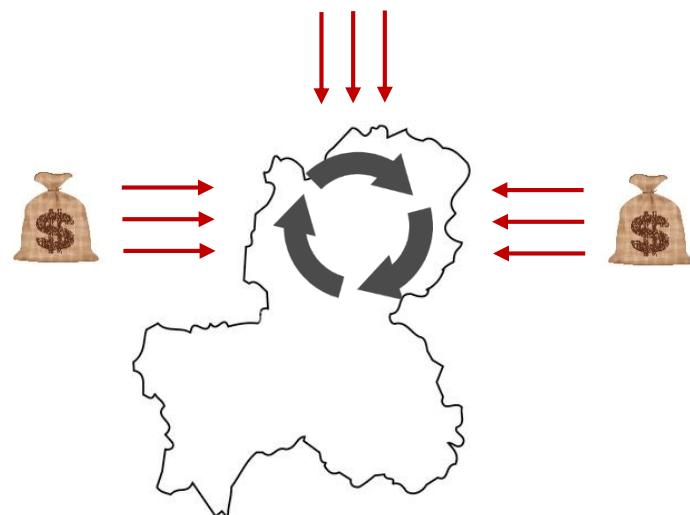
ユーザー数

約24,600人

約1,700店舗

約51億円

※R4.1.31 時点



さるぼぼコインの現状④ 理念⇒地域の中で循環する



決済を便利にそして、お得にするキャッシュレス決済手段です。しかし、それだけでなく、さるぼぼコインは地域を支えるサービスです。

使えば使うほど
地域内で経済が循環して
街が潤います。



CSV経営の実現



地域課題の解決

地域課題の解決① 行政との連携 (基本提携)

高山市

「電子地域通貨さるぼぼコインを活用した連携に関する覚書」

飛騨市

「災害時等におけるさるぼぼコインアプリを利用した情報配信に関する協定書」

- ◇税金及び各種証明書等の手数料納付についてさるぼぼコインでの決済を導入
- ◇災害情報(避難勧告、避難指示等)配信ツールとして導入
- ◇健康ポイントの連携【高山市】
- ◇交通情報(事故や災害による通行止め)配信ツールとして導入【飛騨市】
- ◇クマの出没情報配信ツールとして導入【飛騨市】



地域課題の解決① 行政との連携（ポイント付与・還元事業）

飛騨市がんばれプレミアム電子地域通貨



- ◇実施期間：2020年5月20日～2020年5月31日
- ◇事業概要：飛騨市において、プレミアム商品券の一部を電子地域通貨として発行する試み
- ◇総発行額：総額2,000万円ポイントを付与予定のところ、**4,730万ポイント**と大反響

キャッシュレス・消費者還元事業

発行したコインと合わせると
約2億3,000万円もの経済効果に

- ◇実施期間：2019年10月1日～2020年6月30日
- ◇総発行額：期間中の還元ポイント実績約**4,700万ポイント** ⇒ そのすべてが地元の消費に
- ◇加盟店手数料補助額：約**340万円**
- 合計、約**5,000万円**分の資金が国から域内（当組合）へ流入。



マイナポイント事業

- ◇実施期間：2020年9月1日～2021年3月31日
- ◇総発行額：上限5,000円相当のポイント付与
⇒ そのすべてが地元の消費に



地域課題の解決① 行政との連携（施策の広がり）

交流人口から定住人口まで、さまざまな場面でコミット【飛騨市】

交流人口

関係人口

定住人口



観光物産展での
ブース設置



ネット通販の
売上支援



ヒダスケ！
のオカエシ



Medical Herb Hida
薬草フェスティバル
カードラリー景品



移住者や子育て世代へ
のさるぼぼコイン支給



観光マップ
割引きクーポンの
プッシュ通知



ふるさと納税機能
の搭載【協議中】



ファンクラブ会員証
機能の搭載



まめとく健康ポイント事業
での景品



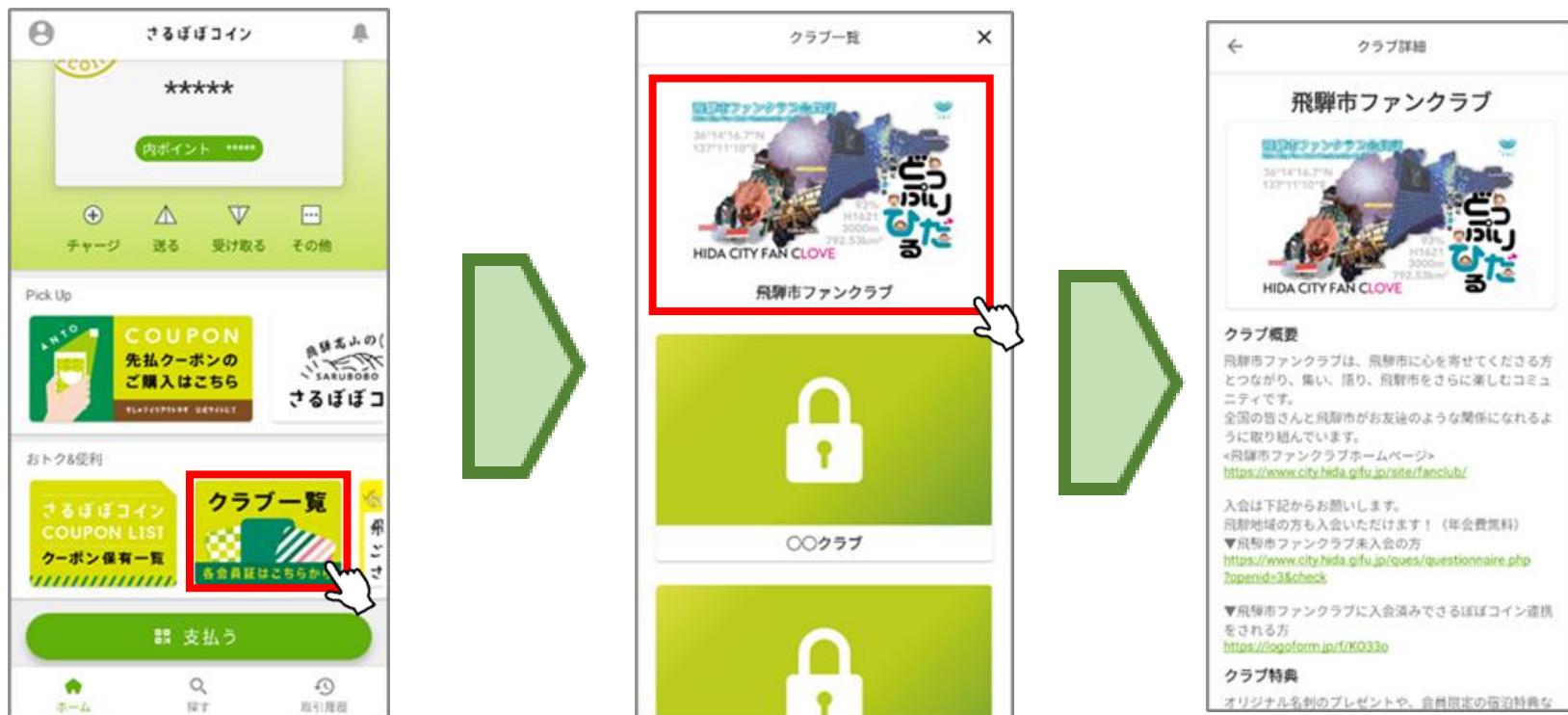
病院等公共施設での利用

地域課題の解決① 行政との連携（施策の広がり 会員証機能）

飛騨市ファンクラブとさるぼぼコインが連携



- ◇ファンクラブ会員証のデジタル化を実現
- ◇アプリのプッシュ配信機能や決済機能を利用したオリジナルキャンペーンが可能に
- ◇市外会員が市内に宿泊すると、2,000ポイント付与キャンペーンを実施中



地域課題の解決① 行政との連携（地域交通との連携）

◇観光特化型バスへの導入（高山市）



地域課題の解決② 観光消費の拡大 (GoToTravel事業との連携)

飛騨高山観光コンベンション協会と連携した「スマホでお得旅」

- ◇事業概要: Go To Travel事業に合わせ、対象プランで宿泊されたお客様に対して、さるぼぼコインのポイントカードを配布。(1予約あたり最大8000円相当分)
- ◇実施期間: 2020年7月1日～2021年3月20日
- ◇総発行額: 岐阜県民向け、全国版、JRと3つの事業合わせ、総額 **50百万円** 規模
- ◇既に約**5,500ユーザー/30百万円** のチャージ実績があり、観光銘柄加盟店などで決済
- ◇同様の内容で第二弾がスタートし、JR東海・濃飛バスの利用でオリジナルポイントカード付与



地域課題の解決② 観光消費の拡大（観光客に向けた環境整備）

◇観光客の利便性の向上

- + 全国のセブン銀行ATMでのチャージが可能に
- + 観光系施設、飲食店等の加盟店登録推進
- + 景観に配慮したデザインの開発

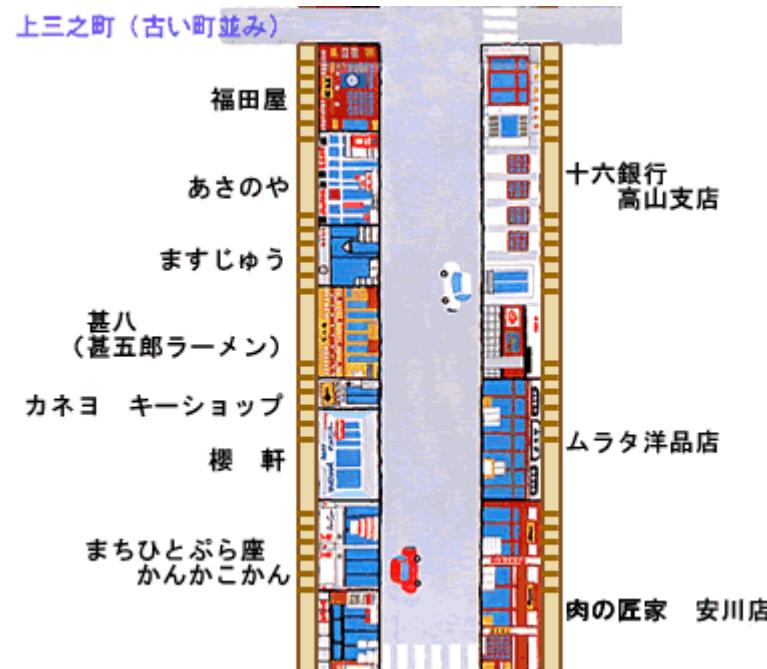


地域課題の解決③ 地元消費の拡大 (安川商店街のキャンペーン)

商店街と連携した消費拡大キャンペーン

◇安川商店街様

- + SBC 20% ポイント還元キャンペーンを10月1日から実施 ポイント上限5百万円
- + 商店街にある64店舗のほとんどがさるぼぼコイン加盟店に
- + 3,800件 19百万円の決済実績 「いつもは出ない高額商品が売れてありがたい！」



地域課題の解決③ 地元消費の拡大（商店街の取組の拡大）

商店街と連携した消費拡大キャンペーン →5つの商店街でさるぼぼコイン20%ポイント還元キャンペーン

- ◆ 下一商店街様 11月15日～1月20日 ポイント上限640万円
→ 下一商店街の利用商品券と併用 (SBCは100万円程度)
- ◆ 本町1丁目様 12月1日～ ポイント上限100万円
- ◆ 本町2丁目様 11月15日～1月31日 ポイント上限200万円
→ 本町2丁目商店街の利用商品券と併用
- ◆ 本町3丁目様 12月1日～2月28日 ポイント上限300万円
→ 本町3丁目商店街の抽選券と併用
- ◆ 本町4丁目様 12月1日～ ポイント上限200万円
- ◆ 合計で8,700件/11,700千ポイント還元 実消費58百万円の消費拡大に寄与



地域課題の解決③ 地元消費の拡大 (飲食店の支援)

#そしゃテイクアウトやぞ&デリバリー

◇テイクアウト&デリバリー対象加盟店舗の利用で10%ポイント還元キャンペーン

→ **10% ポイント還元キャンペーン**を4月25日から実施。好評につき5月31日まで延長

→ 約100店舗で680万円の利用があり、**68万ポイント**を還元⇒**そのすべてが地元の消費に**

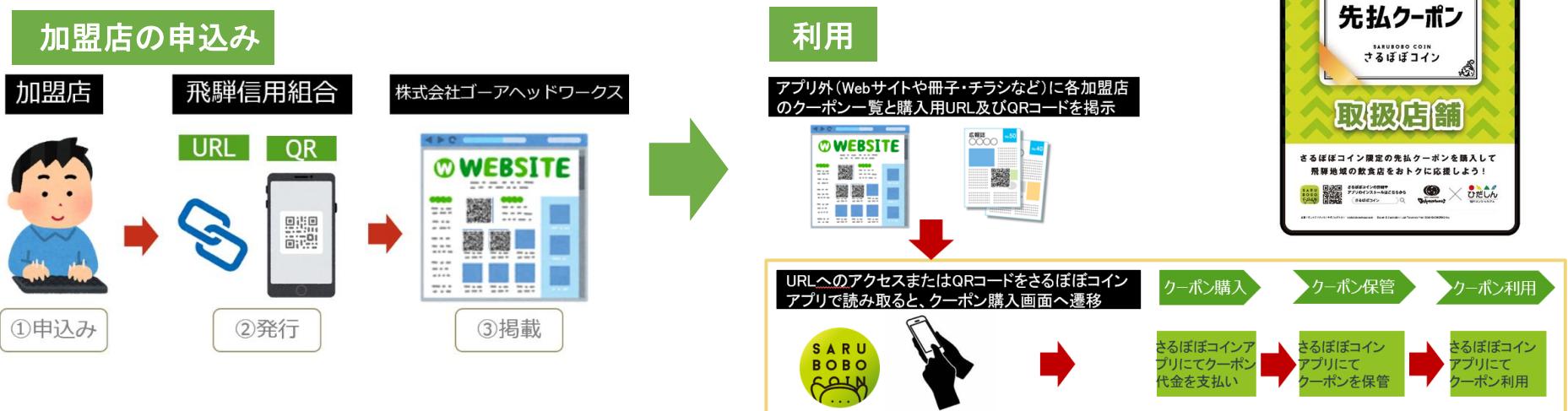
先払クーポン機能の提供 2021年2月10日リリース

◇さるぼぼコイン加盟店が発行する先払クーポンをECサイト等で紹介

→ユーザーはECサイトからアプリを利用して先払クーポンを購入⇒加盟店へ即時コイン送金

→**20%ポイント還元キャンペーン**を実施

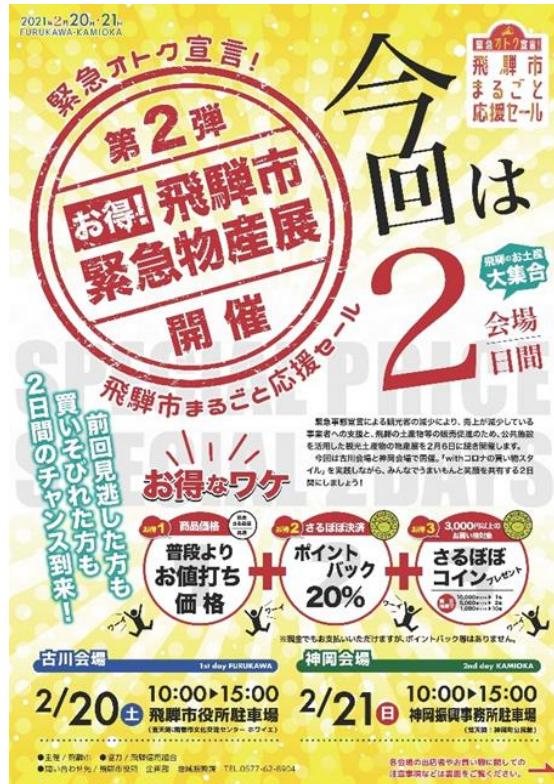
→約50店舗で200万円の利用



地域課題の解決③ 地元消費の拡大（土産品販売の支援）

緊急物産展・土産品応援セールを行政等と連携

◇緊急事態宣言による観光客の減少により売り上げが減少している土産品事業者への支援
→主催者がさるばぼコインのポイント還元を活用して集客（行政がポイント原資を負担）
→当組合はコインプレゼントと専用ブース設置により支援
→4回の開催で1,000ユーザー、4百万円のコイン決済（60%以上がさるばぼコイン利用）



地域課題の解決③ 地元消費の拡大（特定地域、業種大売出し）

特定地域や特定業種を支援する「大売出し」

◇飛騨市まるごと大卖出し（飛騨市の助成事業）

→飛騨市内の事業者でさるぼぼコイン決済で20%を還元⇒そのすべてが地元の消費に

→第1弾 5月月末の週末3日間で3,000件/24百万円の実績

→第2弾 大好評につき、6月月末も内容を拡大して実施。**5,000件/62百万円**の実績
→第3弾 市民の要望に応え更に規模を拡大して12月に。**9,500件/95百万円**の実績

◇まちの電気屋さんポイント還元セール（高山市の助成事業）

→高山市内の「電気屋さん」24店舗が参加

→さるぼぼコイン決済で5%を還元⇒そのすべてが地元の消費に



地域課題の解決(番外) 高校生が地域課題の解決策を提言

◇高校生の声

※高山市議会 市民意見交換会 高校生との意見交換会(2020年2月)の映像より引用



今後の展開

今後の展開① 非対面取引の可能性拡大

「非対面決済」の利用拡大

◇豪雨災害の寄付活動



◇無人販売所



◇会費の支払い



◇慈光会後援会の寄付



◇飛騨市鯉のエサ



EC 決済

今後の展開② EC決済の拡大

小規模事業者でも簡単に参入できるさるぼぼコイン「EC決済」

- ◇高山で食べた「みだらしだんご」が忘れられない。
- ◇そうだ！ さるぼぼコインが残ってた。セブンイレブンで追加チャージしよう。
- ◇コロナが落ち着いたら、また高山行きたいね。



ネットショップのお支
払い



クレジットカード・PayPal・さ
るぼぼコイン（電子地域通貨）・銀
行振込・代金引換からお選びいた
だけます。

[お支払いの詳細はこち
ら](#)

株式会社ミソラプランニング

支払い

HOME

WEBサイト制作

ブログサービス

ネットショッ
ピング

ありがとうございました。ご注文を受け付けました。

注文番号:
3390

日付:
2022年2月3日

合計金額:
¥ 5,818

決済方法:
さるぼぼコイン



2営業日以内に、専用お支払いURL・QRコード付きのメールをお送りいたします。今しばらくお待ちください。

注文詳細

商品	合計
飛騨高山「米丸家」みたらし団子50本 BBQセット × 1	¥ 2,500

今後の展開③ BtoB取引拡大に向けた取り組み

<実施アイディア>

- 事業者アプリ開発
- 法人電気料金（2月リリース）
- 給与のSBC払い
- 商流開拓（右図）等

BtoB取引拡大に向けた個別の商流トレース例



今後の展開④ さるぼぼコインタウン

さるぼぼコインタウン

日本円では買えない、さるぼぼコインだけで買うことができる商品やサービス、
出会える人などを集めて販売していく
→地域の魅力を正しく伝える新しい観光コンテンツへ

◎ 日本円では食べれない「飛騨の裏メニュー」 | FOOD



イタリアンの名店で味わう禁断のカツ丼

リストラーレ アルテツツア 高山市／食

いつもはグリルで頂く、飛騨旨豚と平野さんが作る無農薬玄米。生産者がどうしても、どうしてもとシェフに頼み込んで生まれたイタリアンのカツ丼。希少な玄米を使用しているため、毎日2食限定。そしてシェフが忙しいときにはお作りできない、幻のカツ丼です。

1日2両限定 | 2000 さるぼぼコイン



いい意味で顔が定まらない、さるぼぼコインアイス

茶屋 丸 飛騨市／裏メニュー

さるぼぼコインのロゴ「しんちゃん」デザインのアイス。しんちゃんの顔は、日によって、スタッフによって、毎回変わる一点物！そんな一期一会アイスは、いかがですか。

1個 | 110 さるぼぼコイン



家出する場所 in 高山

ゲストハウスとまる 高山市／ゲストハウス

【地元向け】ちょっとだけ家を飛び出したい、気分を変えて外泊したい、でも遠出はできないしお金も...。そんな高山市の方のための家出プラン。もちろん、高山で飲んで帰れなくなった人もご利用できます。地元の人と、観光客と、普段とは違う夜を過ごしませんか？

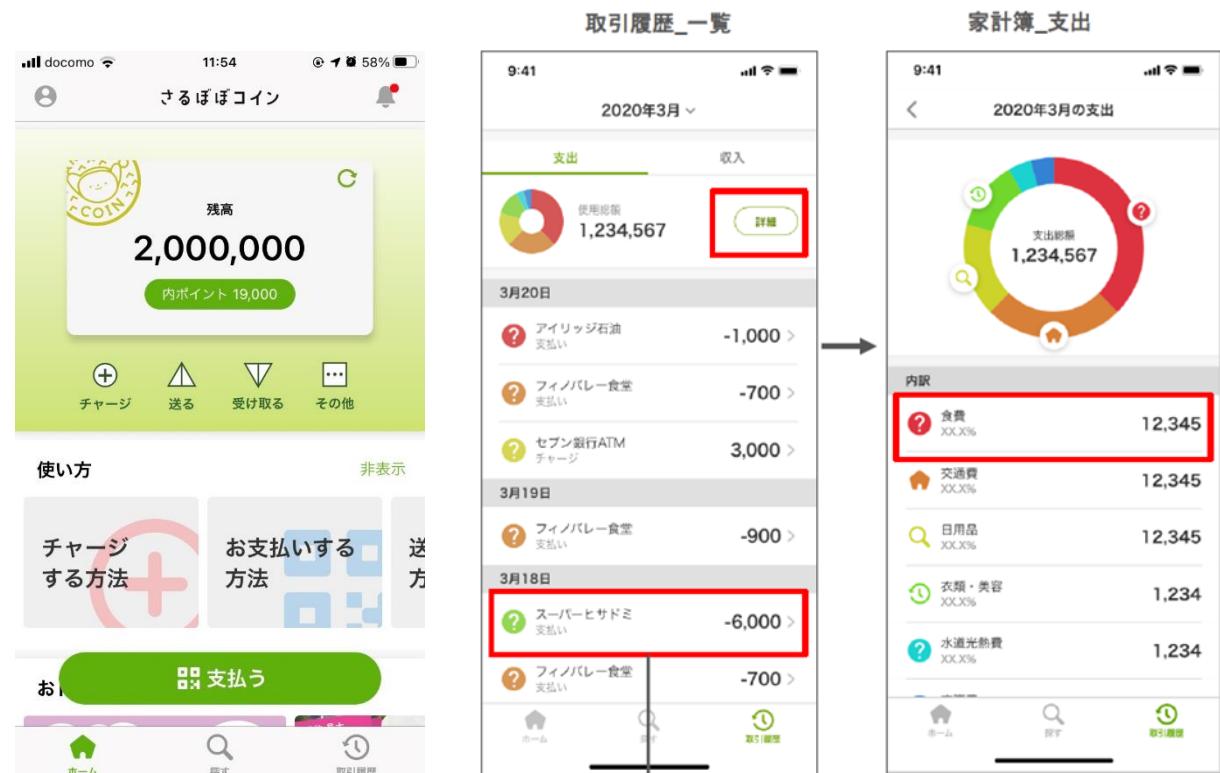
1名 | 3000 さるぼぼコイン

今後の展開⑤ アプリの随時リニューアル

ユーザーの皆様の声を参考に全面リニューアル（2020年11月）

リニューアルのポイント

- ◇全体のデザイン見直し
- ◇ポイントとコインの合算表示
- ◇家計簿機能の追加
- ◇食事クーポン機能の追加
- ◇決済音「あんと」が常にON
- ◇対応OSの変更
- ◇アプリアイコンの変更



他地域での 導入事例

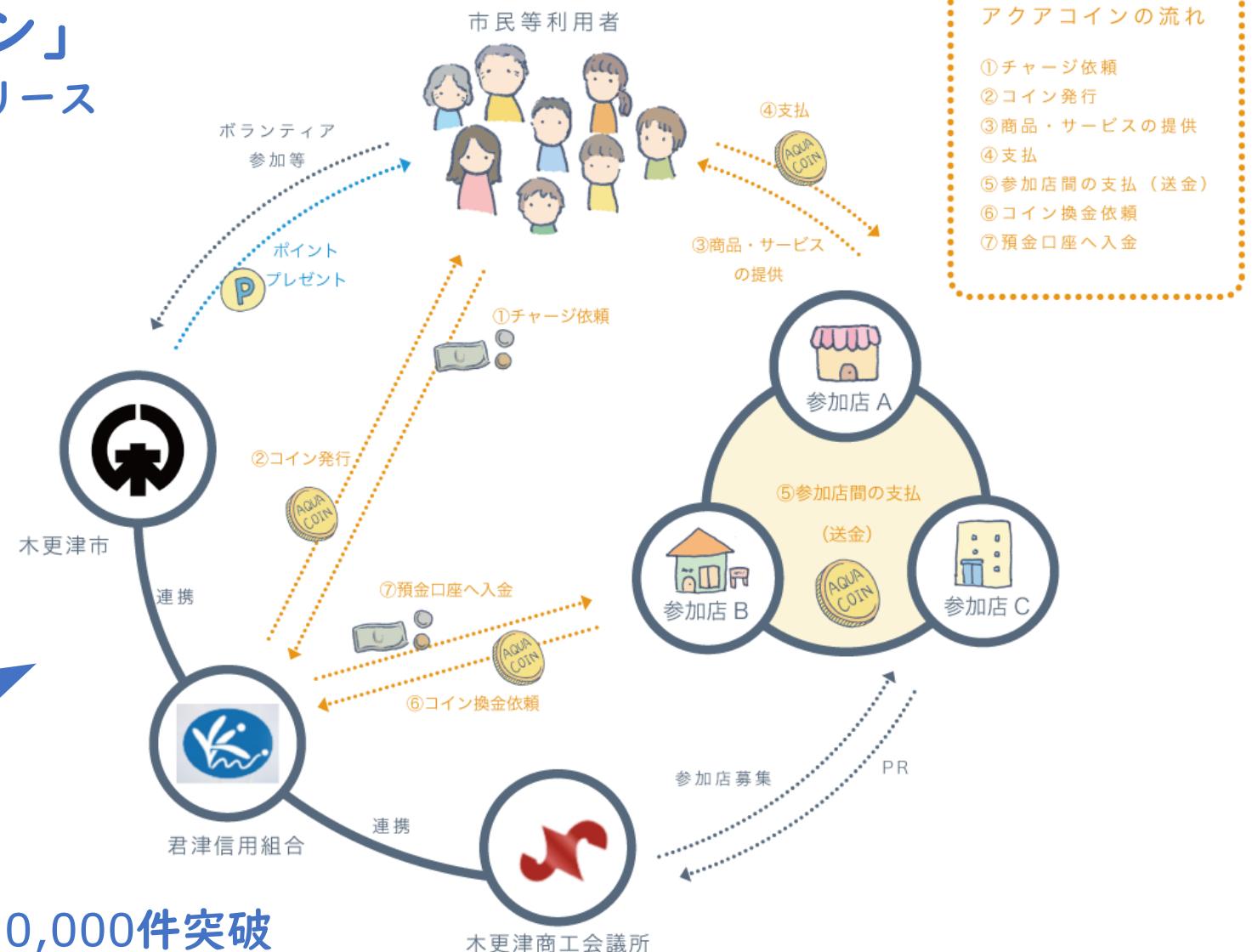
他地域での導入事例① アクアコイン 木更津市

「アクアコイン」 2018年10月リリース



経済団体×行政
の連携で素早く
地域に浸透

◇ダウンロード件数 10,000件突破
◇利用可能店舗 500店舗突破

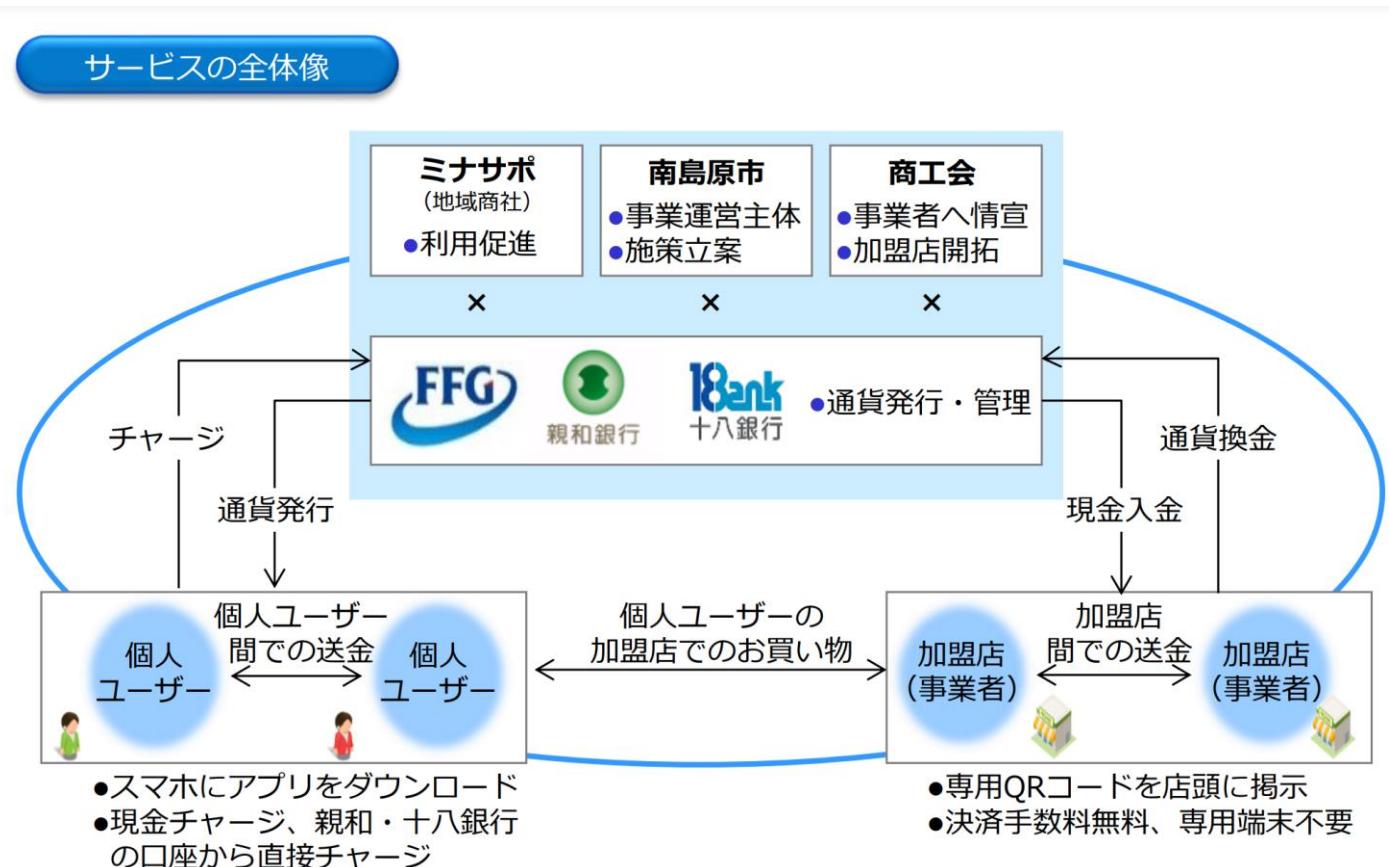


他地域での導入事例② MINAコイン 南島原市

「MINAコイン」地銀初の電子地域通貨提供へ 2021年2月 リリース



経済団体×行政
の連携で素早く
地域に浸透



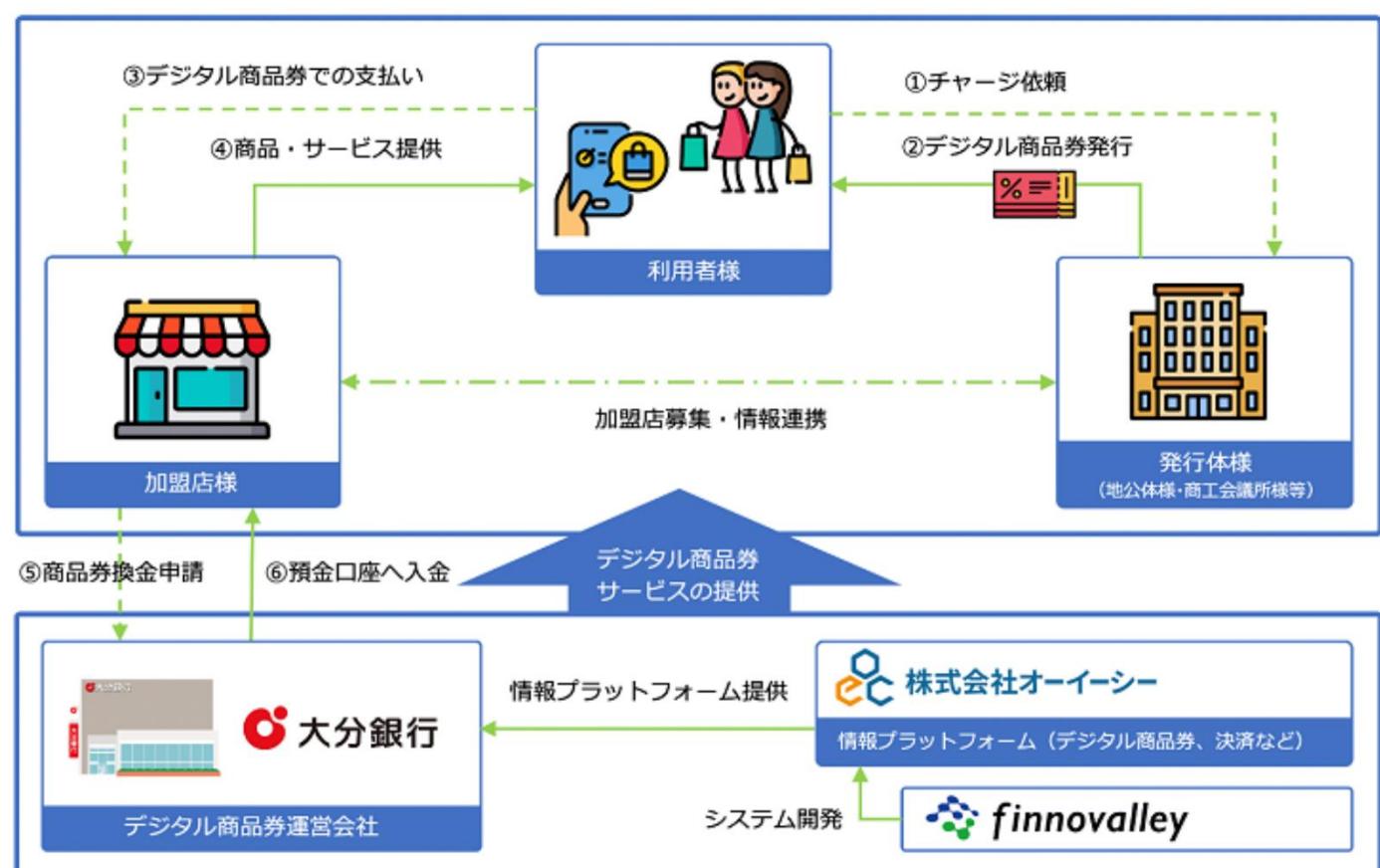
他地域での導入事例③ 大分銀行デジタル商品券

大分銀行がデジタル商品券の発行スキーム取扱い開始

2020年10月 リリース



自治体などが発行するプレミアム商品券の発行支援



他地域での導入事例④ せたがやPay 世田谷区

世田谷区のデジタル商品券・地域通貨「せたがやPay」

2021年2月 リリース

- ◇世田谷区が支援
- ◇世田谷区商店街振興組合連合会が導入
- ◇デジタル商品券として開始
- ↓
- ◇デジタル地域通貨としての運用

世田谷区の「地元のお店応援キャンペーン！」にも活用
※チャージ額の30%プレゼント
※飲食店での決済で20%還元



他地域での導入事例⑤ ぎふ旅コイン 岐阜県

岐阜県の電子観光クーポン事業 「ぎふ旅コイン」

2021年10月 リリース

- ◇岐阜県と岐阜県観光連盟が採用
- ◇非接触による感染症対策+観光DXを目指す

- ◇さるぼぼコインとも連携



- ◇さるぼぼコイン加盟店でぎふ旅コインも決済可能に



専用ステッカーを掲示

県内観光時に1人1泊あたり、2,000円相当の
ポイントカードを付与
県内約1,100店舗の加盟店で利用可能
(うち約40%はさるぼぼコイン加盟店)



他地域での導入事例⑥⑦⑧

まつもとコイン きじうまコイン はまなこPay

観光振興、地域振興を目的とする取組が各地で誕生

「まつもとコイン」

2021年12月リリース

◇松本市内観光産業の
早期回復を目的



「きじうまコイン」

2021年12月リリース

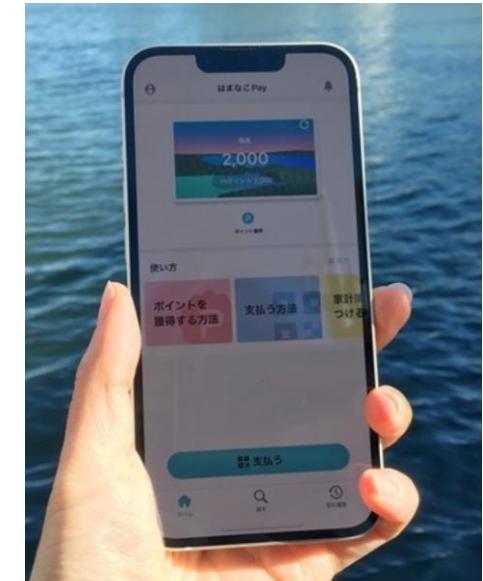
◇熊本県人吉市の支援のも
と域内消費循環を可視化



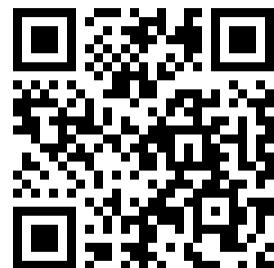
「はまなこPay」

2022年1月リリース

◇浜名湖館山寺温泉で地域
の一次産品の販売促進



毎日放送 ミント
「さるぼぼコイン」



テレビ東京放送 WBS
「ご当地ペイ特集」



東海テレビ
「還元率20%の取組」



さるぼぼコインは、4年のアニバーサリーを迎えることができました。この間に、山々に囲まれたこの地域は全国でも有数のキャッシュレス先進地となり、地域通貨が生活に根付くエリアとして、全国から注目されています。

地域通貨は、地域になくてはならないデジタルプラットフォームとなることで、シビックプライドを醸成する装置ともなり、地域の将来を大きく変えることができるかもしれません。

当地の取組が全国に拡散することを通じて、地域の魅力を再発見することにつながればとてもうれしいです。ご質問等ございましたら、何なりとお問合せください。

